

高ボッチ & 三峰山山行報告

【山行日】2025年 6月 28～29日(土日)

【集 合】岩舟支所 P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 17,400円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:嶋田
植竹、大塚、根本、

【コースタイム】10日:岩舟支所 P5:00＝高ボッチ第
2P7:40/8:00～高ボッチ～高ボッチ第2P
8:35/8:45＝鉢伏山荘 9:00/9:10～鉢伏山
9:25/10:00～前二ツ山 10:40～鉢伏山荘
11:20/11:30＝ガスト 12:00/12:50＝松本城
13:30/15:00＝ルートインホテル諏訪南 16:20

北海道の利尻山と礼文島を計画したが参加者が少なく中止になり、代替山行として展望が素晴らしい高ボッチと三峰山を計画した。今日登る高ボッチと鉢伏山は、2年前に登り素晴らしい景色なの



で、是非皆さんに登ってほしいと思い計画した。岩舟支所を5:00に出発し北関東道から上信越道を進み、更埴 JCT から長野道を走って塩尻 IC で降りる。ここからの道順は難しいのでナビ任せで走り、崖ノ湯温泉を通して狭い山道を走り高ボッチ第2駐車場に車を止める。駐車場の側にはテントサイトがあり、管理棟の「でいたらボッチ館」や綺麗なトイレが併設されている。駐車場の先が展望台になっており、ここからの北アルプスの展望が素晴らしい。北の白馬岳から南の御嶽山ま

で北アルプスの全てが展望でき、根本さんが「私はこの景色を見られただけで満足です」と感動していた。道路を横切ってレンゲツツジの群生地の中を少し登ると、高ボッチ山山頂に着く。レンゲツツジは終わっていたが山頂からの展望が素晴らしく、諏訪湖の正面に南アルプスや富士山が望め、振り返ると北アルプスの山々が見渡せる。展望を楽しんだら反対側に下り、緩やかな高原の道を爽快に歩いて駐車場に戻る。見晴小屋から歩く予定だったが、もっと素晴らしいコースがあるので鉢伏山荘まで車で移動する。

鉢伏山荘に駐車料金を支払い、鉢伏山に向かって登って行く。こちらも前回はレンゲツツジで山がオレンジ色に染まっていたが、今年は1週間遅い為見頃は過ぎている。



それでも少し残った花の中を気持ち良く登って行く。途中、若山牧水の歌碑コースの案内標識があり、右に細い山道を登ると牧水の歌碑や石碑がある。ここからほんの少し登ると鳥居が建ち、鉢伏



山山頂の標識が立つ。記念写真を撮りさらに進むと展望台があり、ここに登ると360度の大展望が楽しめる。展望を楽しんだら下のベンチに移動し、展望を楽しみながらプリンとキュウリの漬物をいただく。

キュウリとプリンは以外と合い、大展望を楽しみながら至福の一時。ここから往路を戻りニッ山への分岐まで下り、分岐を右に進んでニッ山を目指す。草原のなだらかな道を進み、美ヶ原や霧ヶ峰の山並みを見ながら爽快に歩いて

行く。展望が良い草原の稜線歩きが続き、後ろから「こんな素敵な山が有るんですね、素晴らしい山に連れて来てもらい有難うございます」と感謝された。アップダウンを繰り返しながら稜線を歩き、ひととき展望が良いピークの前ニッ山に着く。山頂は狭いが展望は抜群で、登って来た鉢伏山や北アルプス、美ヶ原等々が望め大満足。ニッ山まではまだ遠いので、ここで展望を楽しんだら戻ることにする。この稜線は分水嶺になっており、降った雨は尾根の左側は日本海に、右側は太平洋側にそそぐ流れになる。

そしてこの稜線を進むと、明日登る三峰山を経て美ヶ原へと続いている。ここから来た道を戻り、鉢伏山荘でトイレを借りて松本城へと向かった。往路を戻り国道19号線を進み、途中のガストでランチをいただく。松本城の駐車場に車を止め、



道路を渡って松本城へ向かう。広いお堀の畔を天守閣を見ながら歩き、天守閣入口でチケットを買い天守内に入る。松本城は現存12天守の一つで、国宝に指定された5天守の一つでもある。夏の暑い時期にもかかわらず観光客が多く、中々前に進まず時間が掛かる。5層の天守閣であるが内部は6階になっており、最上階に上がる階段は狭く渋滞している。10分以上待たされようやく天守



閣の最上階に登り、展望を存分に楽しんだら天守閣を後にする。皆さん松本城に来たことはあるが天守閣に登った事が無く、今回天守閣に登れて良かったと喜んでいました。駐車場まで戻り、車に乗ったら今宵の宿ルートイン諏訪インターに向かう。松本ICから高速道に入り途中の諏訪SAに寄る予定だったが、時間が遅れているのでホテルに向かう。ルートインホテル諏訪インターに着き、チェックインを済ませ女性達は部屋に向かい、我輩は道路を挟んだルートインホテル諏訪第2に向かう。

チェックインを済ませて部屋に入り、大浴場で入浴したら女性達と待ち合わせたルートインホテル諏訪インターのレストランで夕食会が始まる。各自好きな物をオーダーし、ビールで乾杯して今日登った山の話で盛り上がる。生ビール4杯飲んで夕食会がお開きとなり、明日の予定をお話して部屋に戻る。明日の天気予報を確認し、晴れの予報に安心して床に就いた。

11日:ルートインホテル 7:30=扉峠 P8:30/8:45~登山口 P8:55~三峰山 10:00/10:10~分岐

10:30/10:45~和田山北峰 11:20/11:30~古峠 11:50/11:55~和田峠 P12:10/12:20=八島湿原 P

12:35/13:45=道の駅「ヘルシーテラス佐久南」15:00/15:20=岩舟支所 P16:45



今日の山は去年のTV番組「そこに山があるから」で放映され、我輩が知らない山でこんな素晴らしい山が有るんだと思った三峰山である。いつか登りたいと密かに狙っていた山なので、今年実現でき超楽しみな山である。朝5:00に起きて窓の外を見ると、青空が広がり良い天気にあたる。

皆さんと一緒に昨夜のレストランで朝食バイキングを食べ、7:30にホテルを出発する。国道20号線を諏訪湖に向かって進み、元町交差点を右折して県道40号線に入る。クネクネ曲がった山道を40分程走

り、霧ヶ峰インターからビーナスラインに入り美ヶ原方面に向かい扉峠の駐車場着く。出発の準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行ったら出発する。道路を10分ほど歩くと三峰山登山口の標識があり、ここからは一本道なので「ゆっくり登って稜線に出たら左に少し登ると三峰山に着くから、ここで我輩を待つように」と言い聞かせて我輩は駐車場に戻る。車に乗って下山口の和田峠駐車場まで戻り、反対側から三峰山に向かって登って行く。道路を少し登ると登山口の標識が立ち、ここから古峠までは旧中山道の広くなだらかな道を登って行く。古峠には旧中山道の石碑や案内板が立ち、



往時の賑わいが偲ばれる。ここから右の登山道に入り、稜線の登りが続くので後期高齢者の我輩にはきつい坂道だ。和田山北峰まで登ると笹原の爽快な稜線歩きが続き、テレビで金子貴俊さんが「ウワ~素晴らしい」と連呼して登った稜線である。穏やかな稜線歩きが続き、実に気持ち良く登って行く。1748mピークを過ぎたあたりでTELがあり、皆さん待ちきれず三峰山から下っているとのこと。我輩も頑張って登ったが皆さんも頑張って登り、やはり山頂で長く待つのは出来ないようである。

展望が良い稜線は下って来る皆さんが良く見え、我輩が山頂まで10分くらいの場所で合流した。



休憩を取り展望を楽しみながらブッセを食べ、皆さんが山頂からの展望はとても良かったと話していた。ここから和田峠に向かって下山開始し、展望が良い稜線歩きに皆さんの会話が弾む。景色を楽しみながらゆっくり下り、古峠で休憩を取り旧中山道を下って和田峠の駐車場に着く。靴を履き替えたら車に乗り、来た道を戻って八島湿原に向かう。八島湿原は人気の場所で、駐車場はほぼ満車だったがようやく奥のスペースに車を止められた。トイレを済ませたら道路下の歩

行者用トンネルをくぐり八島湿原の案内板が立つ広場に出る。ここからは八島湿原が一望できるが、さらに木の階段を下って湿原の遊歩道に出る。右に反時計回りに木道を進み、ハクサンフウロやイブキトラノオ、アヤメ、ヤマオダマキ等々の花が目を楽しませてくれる。15分くらい歩くと休憩所があり、ベンチでひと休みしたら引き返す。駐車場に着くと「お腹が空いた」と言うので、ビジターセンター脇のベンチとテーブルでランチタイムとする。それぞれ持参したおにぎりやパンを食べ、お腹が満たされたら帰路につく。ビーナスラインの景色を楽しみながら走り、白樺湖から女神湖を通過って県道52号線を下る。蓼科牧場に寄り絶品のソフトクリームをいただく。ここのソフトクリームは甘さ控えめだが濃厚で、我輩が一番好きなソフトクリームである。日陰のベンチで牧場の緑を見ながらいただき、のんびりと至福の一時を過ごした。さらに道の駅「ヘルシーテラス佐久南」に寄ってお買い物。佐久南ICから中部自動車道に入り、小諸佐久JCTから上信越道に入るといつもの工事渋滞が始まった。今回は時間が早いせいか大した渋滞ではなく、予定より1時間 30 分早く岩舟支所に帰着した。

